

高江での警察、機動隊の「土人」発言を差別発言と 認めない鶴保庸介沖縄及び北方対策担当大臣への抗議決議

東村高江でヘリパッド建設に反対する市民に機動隊員が「土人」「シナ人」と暴言を吐いた問題で、11月8日の参議院内閣委員会にて、鶴保沖縄担当相が『土人』ということが差別だとは断定できない」などと述べたことは鶴保大臣の沖縄担当相としての資質を問わざるを得ない。土人発言については、10月19日に菅義偉官房長官が「不適切な発言」と指摘し、同月25日に金田勝年法相も一般論としながら「土人」という言葉は差別用語であるとの認識を示した。

今回の鶴保沖縄担当相の「差別だとは断定できない」との発言は、沖縄の担当相として差別発言を事実上正当化するもので、警察、機動隊は大臣のお墨つきが出たと、繰り返しその差別語を使うであろう。そのことに対しては、沖縄県民としてだけでなく、国民一人一人が人間として、人が人を差別することを許さない姿勢を示すことが大切である。

しかし、その後安倍政権は11月18日に、鶴保沖縄担当相が「差別と断定できない」などと述べたことに関して「菅官房長官、金田法相の間で認識に差異はない」とし、政府として土人発言が閣内一致の見解だと閣議決定したのである。差別をなくさないどころか、差別を認める国家は断じて許してはいけない。

米国では次期大統領にトランプ氏が決まってから、学校で児童が「壁をつくれ」などとマイノリティいじめが発生したとの報道が入ってきている。このように私たちの子や孫たちも「土人」と差別語で呼ばれてしまう。

よって本市議会は、鶴保庸介沖縄及び北方対策担当大臣に沖縄県民への「土人」「シナ人」は差別発言と認めないことに強く抗議し、県民への謝罪と沖縄及び北方対策担当大臣の辞職を強く求める。

平成 28 年 12 月 2 日

沖縄県宜野湾市議会

【あて先】 内閣総理大臣、沖縄及び北方対策担当大臣